

アパートの
お隣さんが

やらせて

くれる話4





うーん…

がちゃっ

…いない
ですね

絶対いるんだって
そこに逃げて
行ったんだもん！



たわしみたいな
ムカデが！

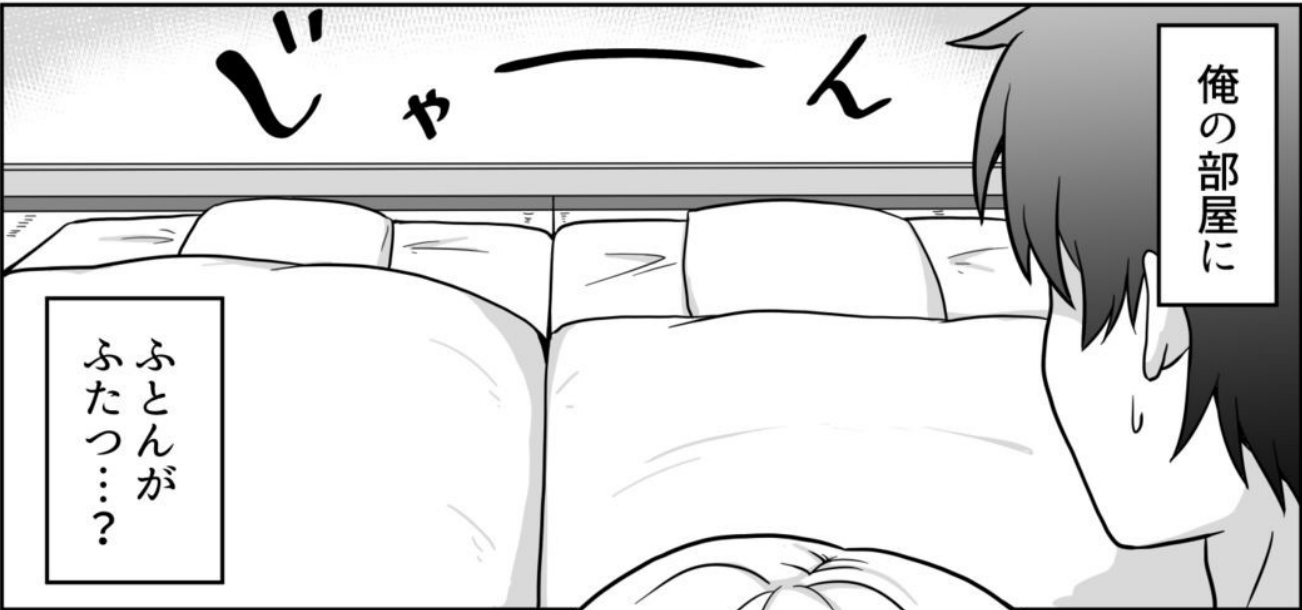
ゲジゲジ
かな…？

どっか隙間に
入っちゃったのかも
しれないですね



夜になったら
出てくるかも

カッ





あれ？ゆうこさん
浴衣ですか…？

うん！お泊り気分
出したいから！

なるほど

じゃあ今日は
お休み！

はい、電気
消しますね

ん？待てよ？

なんだかんだ
こうやって
二人で寝るの

初めてじゃ
ないか…？

コータロくん
起きてる？

は、はい！

ごめんね
いつも
頼りつきりで

いえいえ！
どうしたん
ですか急に？

私ってドジな
ところがあつて

でもこうやって
一人暮らし
していけるのは

コータロくんが
いてくれたおかげ
だなんて思つてね



いやいや!
俺だって!

働き始めてから
ここに越して
知り合いも
いなくて...!



でも俺
ゆうこさんが
いてくれたから
全然寂しいって
感じなくて

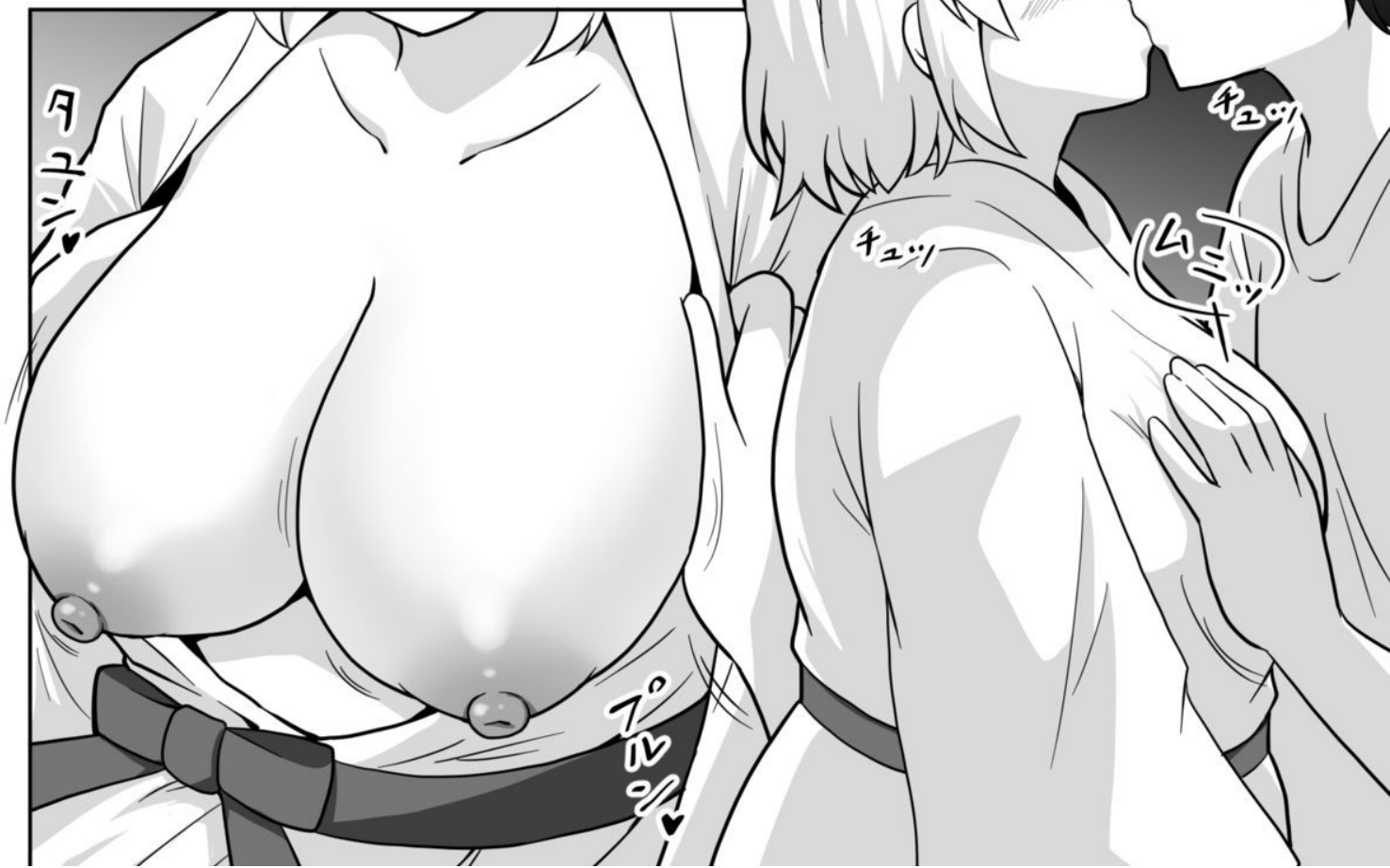
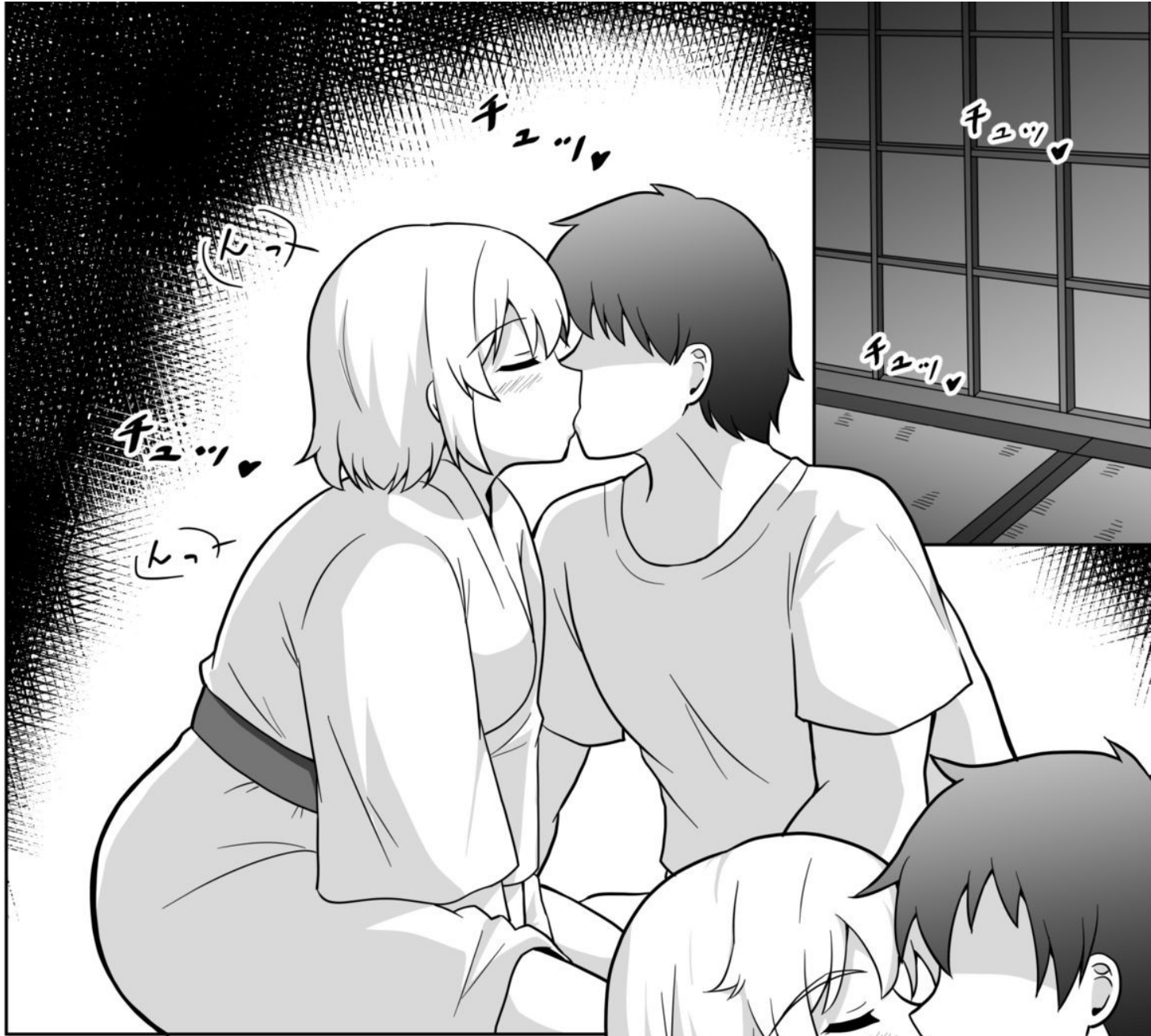
俺が今やって
いけるの
ゆうこさんの
おかげで...

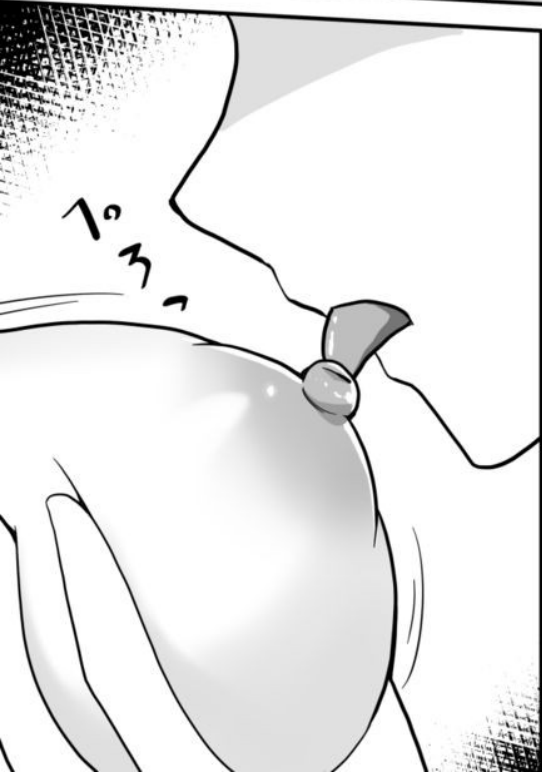


ありがとう
コー太郎くん



あ...
すみません
勝手に
熱くなって









私コータロくんに
甘えばかりだから



うふふ...



コータロくんも
私に甘えてね

ア

ア

ちゅん

じゃあ
挿れますね

うん

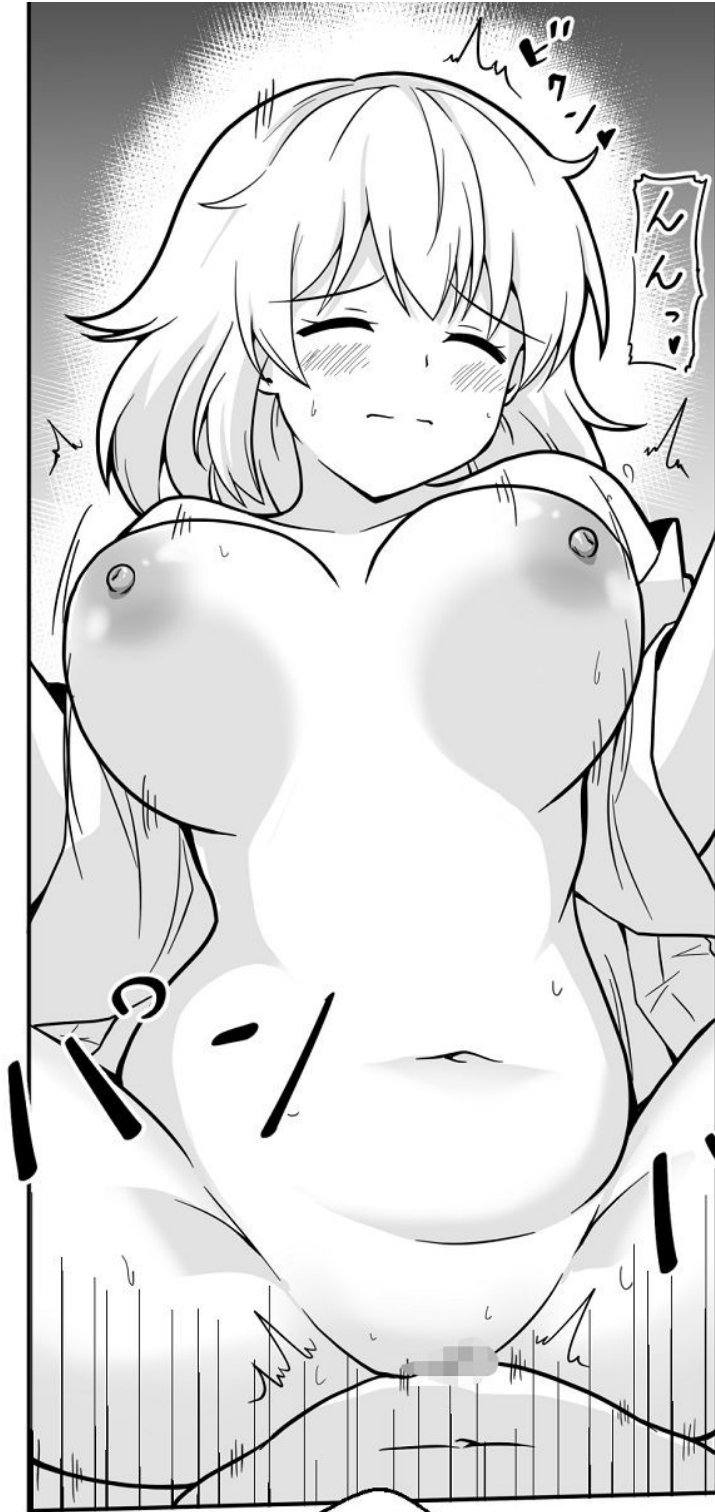
ア

ア

アアユ...

アア...





んんっ

んんっ



あっ
あっ



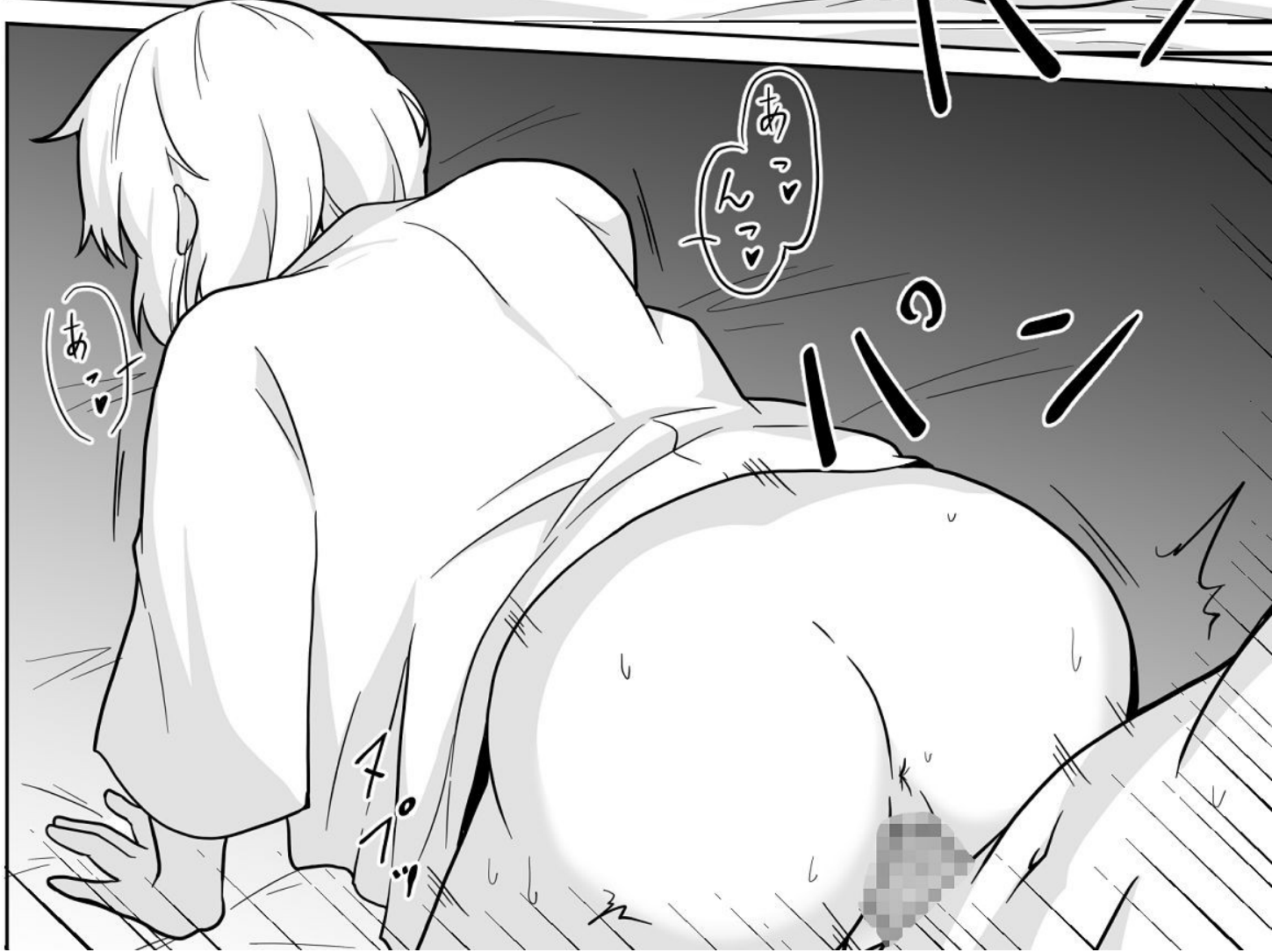
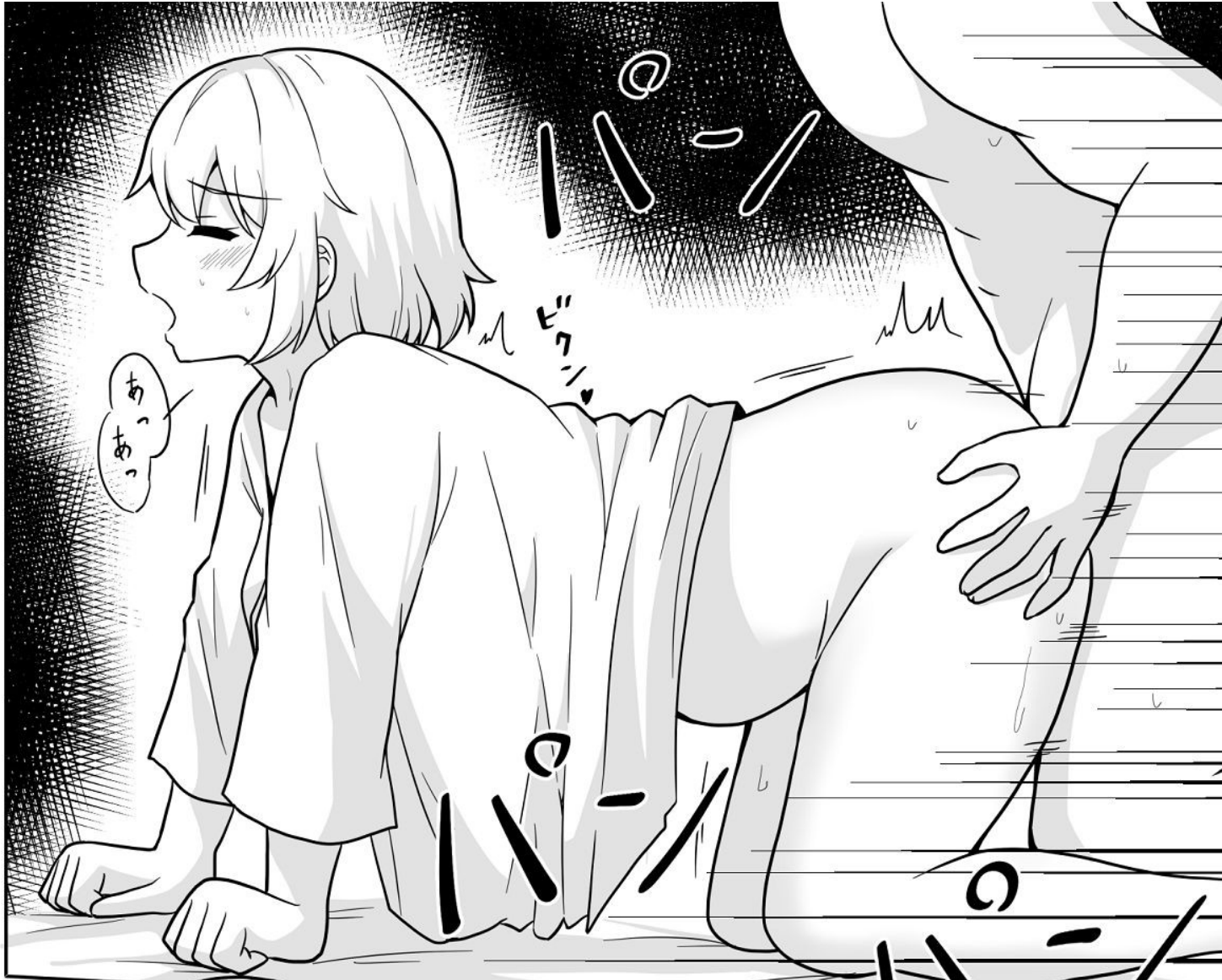
コータロくん
気持ちいい…

ゆうごさん
出しますよ…

うん…!

アチ

グチ





コータロくん
奥：気持ちいい
イっちゃう...

ハッハッ...
ハッハッ...

あ...
あ...

ビクッ
ビクッ

ビクッ
ビクッ

パッ
パッ

パッ
パッ

パッ
パッ

パッ
パッ



ゴッ

アッ

あああ
あああ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ



